

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基礎科目	キャリア	◎キャリアデザイン(2)							
	共通	◎社会学入門(2) ◎現代社会学(2)							
	スキル系		◎コミュニケーション(2)						
	社会学専攻	★社会調査入門(2) 現代社会と福祉I(2) 文化人類学入門(2)	★教育問題と学校の社会学(2) ★メディア社会学(2) 生涯学習論I(2) ボランティア論(2) 社会調査論(2) コミュニティ心理学(2) 文化人類学方法論(2) 博物館概論(2)						
基幹科目	キャリア			キャリア構想ケーススタディ※(1)					
	共通					◎社会構想学(2)			
	社会学専攻			●臨床の社会学(2) ●ジェンダーの社会学(2) ●マスコミの社会学(2) 人間形成論(2) 人間関係の心理学(2) 社会保障論I(2) 社会関係論(2) データ分析論(2) 高齢者福祉論I(2) 児童福祉論(2) 伝承文化論(2) 文化人類学特講A(2) 国際理解教育I(4)	●社会の哲学(2) ●労働と文化の社会学(2) ●福祉社会学I(2) ●地域社会学(2) 家族社会学(2) 社会統計学(2) 障害者福祉論(2) 文化人類学特講B(2) 隔年：国際理解教育II(4) 隔年：グローバル市民論(4)	●社会学理論(2) ●社会問題と教育の社会学(2) 地域福祉論I(2)			
展開科目	キャリア					キャリア構想ケーススタディII※(1)		キャリア構想実践研究※(1)	
	演習				◎演習I(2)	◎演習II(2)	◎演習III(2)	◎演習IV(2)	◎演習V(2)
	共通					インターンシップ(2)			卒業論文(4)
	社会学専攻			●市民の政治学(2) 環境社会学(2) 生涯学習論II(2) 広告論(2) 音声メディア技法(2) 発達心理学(2) 臨床発達援助論(2) 調査研究法(2)	●青少年問題の社会学(2) ポピュラー音楽論(2) 映像メディア技法(2) イベントプロデュース論(2) 現代ファッション論(2) カルチャーの社会学(2) 臨床心理学(2) 質的調査法(2) 社会保障論II(2)	●生きることの社会学(2) ●地域メディアの社会学(2) 社会調査実習(4) 出版メディア技法(2) 社会意識論(2) 結婚と家族の社会学(2) 障害学(2) 健康心理学(2) カルチャーの心理学(2) 多変量解析論(2) 就労支援論(2) エスノグラフィー各論A(2) 多文化社会学論(2)	●メディアと自己の社会学(2) ●福祉社会学II(2) 社会調査実習(4) メディア特論(2) 地域文化の社会学(2) 高齢者福祉論II(2) 地域福祉論II(2) 生活保護と生活支援(2) 観光文化論(2) エスノグラフィー各論B(2)	医療福祉論(2)	
共通専門基礎科目			日本史概説(2)・西洋史概説(2)・東洋史概説(2)・哲学概説(2)		自然地理学(2)・地誌(2)				

※の科目については、履修制限単位に含めませんが、卒業所要単位には算入します。

◎学部共通必修科目	20単位
★専攻必修科目	6単位
●専攻選択必修科目	12単位
選択推奨科目	42単位
選択科目	

選択必修科目の修得単位数が卒業所要単位数をこえた場合、その超過単位数は選択科目の修得単位数に加算されます。

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基礎科目	○キャリアデザイン							
	○社会学入門							
	○現代社会学							
	★社会調査入門	○コミュニケーション科 ★教育問題と学校の社会学 ★メディア社会学 生涯学習論I 社会調査論						
基幹科目			キャリア構想ケーススタディI					
					○社会構想学			
			●臨床の社会学 ●ジェンダーの社会学 ●マスコミの社会学 人間形成論 人間関係の心理学 社会保障論I 社会関係論	●社会の哲学 ●労働とコミュニケーションの社会学 ●福祉社会学I ●地域社会学 家族社会学	○社会学理論 ●社会階層と教育の社会学			
展開科目					キャリア構想ケーススタディII		キャリア構想実践研究	
				○演習I	○演習II	○演習III	○演習IV	○演習V
			●市民の政治学 環境社会学	●青少年問題の社会学	●生きることの社会学 ●地域メディアの社会学	●コミュニケーションと自己の社会学 ●福祉社会学II	卒業論文	

	○学部共通必修科目
	★専攻必修科目
	●専攻選択必修科目
	選択科目

		1年次		2年次		3年次		4年次		
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
基礎科目	キャリア	◎キャリアデザイン(2)								
	共通	◎社会学入門(2) ◎現代社会学(2)								
	スキル系		◎コミュニケーション(2)							
	コミュニティ学専攻	★社会調査入門(2) 現代社会と福祉I(2) 文化人類学入門(2)	★コミュニティ心理学(2) ●社会調査論(2) ●ボランティア論(2) 教育問題と学校の社会学(2) メディア社会学(2) 生涯学習論I(2) ソーシャルワーク論I(2) 文化人類学方法論(2) 博物館概論(2)	ソーシャルワーク論II(2)						
基礎科目	キャリア			キャリア構想ケーススタディ※(1)						
	共通					◎社会構想学(2)				
	コミュニティ学専攻			★コミュニティ学演習(2) ●人間関係の心理学(2) ●社会関係論(2) ●データ分析論(2) 臨床の社会学(2) 社会保障論I(2) 人間形成論(2) ジェンダーの社会学(2) マスコミの社会学(2) 高齢者福祉論I(2) 児童福祉論(2) 伝承文化論(2) 文化人類学特講A(2) 国際理解教育I(4)	●地域社会学(2) ●家族社会学(2) ●社会統計学(2) ●労働と福祉の社会学(2) 社会の哲学(2) 福祉社会学I(2) ソーシャルワーク論III(2) 障害者福祉論(2) 文化人類学特講B(2) 隔年：国際理解教育II(4) 隔年：グローバル市民論(4)	●社会学理論(2) 社会階層と教育の社会学(2) 地域福祉論I(2) ソーシャルワーク論IV(2)				
	コミュニティ学専攻									
展開科目	キャリア					キャリア構想ケーススタディII※(1)		キャリア構想実践研究※(1)		
	演習				◎演習I(2)	◎演習II(2)	◎演習III(2)	◎演習IV(2)	◎演習V(2)	
	共通					インターンシップ(2)			卒業論文(4)	
	コミュニティ学専攻			●発達心理学(2) ●臨床発達援助論(2) ●環境社会学(2) ●市民の政治学(2) ●調査研究法(2) 生涯学習論II(2) 広告論(2)	●コミュニティ調査法(2) ●質的調査法(2) ●社会心理学(2) ●臨床心理学(2) ●カルチュラルの社会学(2) 青少年問題の社会学(2) ポピュラー音楽論(2) イベントプロデュース論(2) 現代ファッション論(2) 社会保障論II(2)	●社会調査実習(4) ●多変量解析論(2) ●カルチュラルの心理学(2) ●健康心理学(2) ●社会意識論(2) ●結婚と家族の社会学(2) ●障害学(2) 多文化社会論(2) 地域メディアの社会学(2) 生きることの社会学(2) 出版メディア技法(2) 就労支援論(2) エスノグラフィー各論A(2)	●社会調査実習(4) ●地域文化の社会学(2) コミュニケーションと福祉の社会学(2) 福祉社会学II(2) 観光文化論(2) メディア特論(2) 高齢者福祉論II(2) 地域福祉論II(2) 生活保護と生活支援(2) エスノグラフィー各論B(2)	医療福祉論(2)		
共通専門基礎科目			日本史概説(2)・西洋史概説(2)・東洋史概説(2)・哲学概説(2)				自然地理学(2)・地誌(2)			

※の科目については、履修制限単位に含めませんが、卒業所要単位には算入します。

◎学部共通必修科目	20単位
★専攻必修科目	6単位
●専攻選択必修科目	24単位
選択推奨科目	30単位
選択科目	

選択必修科目の修得単位数が卒業所要単位数をこえた場合、その超過単位数は選択科目の修得単位数に加算されます。

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基礎科目	○キャリアデザイン							
	○社会学入門							
	○現代社会学							
	★社会調査入門	○コミュニケーション						
基幹科目			キャリア構想ケーススタディ					
					○社会構想学			
			★コミュニティ学演習 ●人間関係の心理学 ●社会関係論 ●データ分析論	●地域社会学 ●家族社会学 ●社会統計学 ●労働とグローバル化の社会学	●社会学理論			
展開科目					キャリア構想ケーススタディⅡ		キャリア構想実践研究	
				○演習Ⅰ	○演習Ⅱ	○演習Ⅲ	○演習Ⅳ	○演習Ⅴ
							卒業論文	
			●発達心理学 ●臨床発達援助論 ●環境社会学 ●市民の政治学	●質的調査法 ●社会心理学 ●臨床心理学 ●「エイジ」の社会学	●社会調査実習		●「エイジ」の心理学	●地域文化の社会学
				●健康心理学 ●社会意識論 ●結婚と家族の社会学 ●障害学				

	○学部共通必修科目
	★専攻必修科目
	●専攻選択必修科目
	選択科目

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基礎科目	キャリア	◎キャリアデザイン(2)							
	共通	◎社会学入門(2) ◎現代社会学(2)							
	スキル系		◎コミュニケーション(2)						
	社会福祉学専攻	★現代社会と福祉I(2) ●社会調査入門(2) 文化人類学入門(2)	★現代社会と福祉II(2) ★ソーシャルワーク論I(2) コミュニティ心理学(2) ボランティア論(2) 教育問題と学校の社会学(2) メディア社会学(2) 生涯学習論I(2) 文化人類学方法論(2) 博物館概論(2) 社会調査論(2)	★ソーシャルワーク論II(2)					
基幹科目	キャリア			キャリア構想ケーススタディ※(1)					
	共通					◎社会構想学(2)			
	社会福祉学専攻			●社会保障論I(2) ●高齢者福祉論I(2) ●児童福祉論(2) 臨床の社会学(2) マスコミの社会学(2) ジェンダーの社会学(2) 人間形成論(2) 社会関係論(2) 人間関係の心理学(2) データ分析論(2) 伝承文化論(2) 文化人類学特講A(2) 国際理解教育I(4)	●ソーシャルワーク論III(2) ●障害者福祉論(2) 労働と福祉の社会学(2) 福祉社会学I(2) 地域社会学(2) 社会の哲学(2) 家族社会学(2) 社会統計学(2) 文化人類学特講B(2) 隔年：国際理解教育II(4) 隔年：グローバル市民論(4)	●地域福祉論I(2) ●ソーシャルワーク論IV(2) 社会学理論(2) 社会階層と教育の社会学(2)			
	社会福祉学専攻								
展開科目	キャリア					キャリア構想ケーススタディII※(1)		キャリア構想実践研究※(1)	
	演習				◎演習I(2)	◎演習II(2)	◎演習III(2)	◎演習IV(2)	◎演習V(2)
								卒業論文(4)	
						海外語学演習(2)			
	共通					インターンシップ(2)			
						多文化共生フィールドワーク(2)			
社会福祉学専攻				海外留学科目(16)					
			●発達心理学(2) 臨床発達援助論(2) 環境社会学(2) 市民の政治学(2) 生涯学習論II(2) 広告論(2)	●社会保障論II(2) ●臨床心理学(2) 社会心理学(2) 青少年問題の社会学(2) 文化人類学の社会学(2) ポピュラー音楽論(2) イベントプロデュース論(2) 現代ファッション論(2) 質的調査法(2)	●就労支援論(2) 文化人類学の心理学(2) 障害学(2) 多文化社会論(2) 生きることの社会学(2) 地域メディアの社会学(2) 出版メディア技法(2) 社会意識論(2) 結婚と家族の社会学(2) 健康心理学(2) 多変量解析論(2) エスノグラフィー各論A(2)	●地域福祉論II(2) ●高齢者福祉論II(2) ●生活保護と生活支援(2) 福祉社会学II(2) 観光文化論(2) コミュニケーションと自己の社会学(2) メディア特論(2) 地域文化の社会学(2) エスノグラフィー各論B(2)	●ソーシャルワーク応用実習指導(4) ●ソーシャルワーク応用実習(2) ●医療福祉論(2)		
				日本史概説(2)・西洋史概説(2)・東洋史概説(2)・哲学概説(2)					
	共通専門基礎科目			自然地理学(2)・地誌(2)					

※の科目については、履修制限単位に含めませんが、卒業所要単位には算入します。

◎学部共通必修科目	20単位
★専攻必修科目	8単位
●専攻選択必修科目	12単位
選択推奨科目	40単位
選択科目	

選択必修科目の修得単位数が卒業所要単位数をこえた場合、その超過単位数は選択科目の修得単位数に加算されます。

	1年次		2年次		3年次		4年次		
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
基礎科目	○キャリアデザイン								
	○社会学入門								
	○現代社会学								
		○コミュニケーション							
	★現代社会と福祉I ●社会調査入門	★現代社会と福祉II ★ソーシャルワーク論I	★ソーシャルワーク論II						
基幹科目			キャリア構想ケーススタディI						
					○社会構想学				
			●社会保障論I ●高齢者福祉論I ●児童福祉論	●ソーシャルワーク論III ●障害者福祉論 労働とグローバル化の社会学 福祉社会学I 地域社会論	●地域福祉論I ●ソーシャルワーク論IV				
					キャリア構想ケーススタディII		キャリア構想実践研究		
展開科目				○演習I	○演習II	○演習III	○演習IV	○演習V	
							卒業論文		
			●発達心理学 臨床発達援助論	●社会保障論II ●臨床心理学 青少年問題の社会学	●就労支援論 障害学	●地域福祉論II ●高齢者福祉論II ●生活保護と生活支援	●ソーシャルワーク応用実習指導 ●ソーシャルワーク応用実習		
							●医療福祉論		
社会福祉士課程			ソーシャルワーク演習I		ソーシャルワーク演習II		ソーシャルワーク演習III		
					ソーシャルワーク実習指導				
					ソーシャルワーク実習				
					ひとのからだの理解と疾病				

	○学部共通必修科目
	★専攻必修科目
	●専攻選択必修科目
	選択科目

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基礎科目	キャリア	◎キャリアデザイン(2)							
	共通	◎社会学入門(2) ◎現代社会学(2)							
	スキル系		◎コミュニケーションⅡ(2)						
	国際文化専攻	★文化人類学入門(2) 現代社会と福祉Ⅰ(2) 社会調査入門(2)	★文化人類学方法論(2) ★博物館概論(2) 生涯学習Ⅰ(2) メディア社会学(2) ボランティア論(2) 教育問題と学校の社会学(2) コミュニティ心理学(2) ソーシャルワーク論Ⅰ(2) 社会調査論(2)	★国際文化フィールドワーク(2) ★海外短期研修(2) ソーシャルワーク論Ⅱ(2)					
基幹科目	キャリア			キャリア構想ケーススタディ※(1)					
	共通					◎社会構想学(2)			
	国際文化専攻			●文化人類学特講A(2) ●伝承文化論(2) ●国際理解教育Ⅰ(4) ●博物館と英語(2) ●博物館教育論(2) ●博物館経営論(2) 社会関係論(2) 臨床の社会学(2) ジェンダーの社会学(2) 人間形成論(2) マスコミの社会学(2) 人間関係の心理学(2) データ分析論(2) 社会保障論Ⅰ(2) 高齢者福祉論Ⅰ(2) 児童福祉論(2)	●文化人類学特講B(2) ●隔年：国際理解教育Ⅱ(4) ●隔年：グローバル市民論(4) ●国際協力と英語(2) ●博物館資料論(2) ●博物館展示論(2) 社会の哲学(2) 福祉社会学Ⅰ(2) 労働と福祉の社会学(2) 家族社会学(2) 地域社会学(2) 社会統計学(2) ソーシャルワーク論Ⅲ(2) 障害者福祉論(2)	社会学理論(2) 社会階級と教育の社会学(2) ソーシャルワーク論Ⅳ(2) 地域福祉論Ⅰ(2)			
展開科目	キャリア					キャリア構想ケーススタディⅡ※(1)		キャリア構想実践研究※(1)	
	演習				◎演習Ⅰ(2)	◎演習Ⅱ(2)	◎演習Ⅲ(2)	◎演習Ⅳ(2)	◎演習Ⅴ(2)
					卒業論文(4)				
					海外語学演習(2)				
						インターンシップ(2)			
					国際文化スキル(国際のみ)(4)				
					グローバルコミュニケーション(国際のみ)(8)				
					多文化共生フィールドワーク(2)				
					海外留学科目(16)				
	国際文化専攻			市民の政治学(2) 環境社会学(2) 生涯学習論Ⅱ(2) 広告論(2) 発達心理学(2) 臨床発達援助論(2)	ウェルビーイングの社会学(2) 青少年問題の社会学(2) ポピュラー音楽論(2) イベントプロデュース論(2) 現代ファッション論(2) 社会心理学(2) 臨床心理学(2) 質的調査法(2) 社会保障論Ⅱ(2)	●社会調査実習(4) ●文化人類学実習(4) ●海外博物館研修(2) ●エスノグラフィ各論A(2) ●多文化社会論(2) ●博物館資料保存論(2) 生きることの社会学(2) 地域メディアの社会学(2) 出版メディア技法(2) 社会意識論(2) 結婚と家族の社会学(2) 障害学(2) 健康心理学(2) ウェルビーイングの心理学(2) 多変量解析論(2) 就労支援論(2)	●エスノグラフィ各論B(2) ●観光文化論(2) ●博物館情報・メディア論(2) 地域文化の社会学(2) コミュニケーションと記憶の社会学(2) 福祉社会学Ⅱ(2) メディア特論(2) 高齢者福祉論Ⅱ(2) 地域福祉論Ⅱ(2) 生活保護と生活支援(2)	医療福祉論(2)	
共通専門基礎科目	日本史概説(2)・西洋史概説(2)・東洋史概説(2)・哲学概説(2)								
	自然地理学(2)・地誌(2)								

注1)※の科目については、履修制限単位に含まませんが、卒業所要単位には算入します。  
注2)2年次の英語科目「博物館と英語」、「国際協力と英語」のうち、少なくとも1つを選択することが望ましい。

注3)3年次の実習科目「社会調査実習」、「文化人類学実習」はいずれか1つのみ選択。

選択必修科目の修得単位数が卒業所要単位数をこえた場合、その超過単位数は選択科目の修得単位数に加算されます。

◎学部共通必修科目	20単位
★専攻必修科目	10単位
●専攻選択必修科目	24単位
選択推奨科目	26単位
選択科目	

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基礎科目	○キャリアデザイン							
	○社会学入門							
	○現代社会学							
		○コミュニケーション						
	★文化人類学入門 社会調査入門	★文化人類学方法論 ★博物館概論 生涯学習論I 社会調査論	★国際文化フィールドワーク ★海外短期研修					
基幹科目			キャリア構想ケーススタディI					
					○社会構想学			
			●文化人類学特講A ●伝承文化論 ●国際理解教育I ●博物館と英語 ●博物館教育論 ●博物館経営論	●文化人類学特講B ●隔年：グローバル市民論 ●国際協力と英語 ●博物館資料論 ●博物館展示論				
展開科目					キャリア構想ケーススタディII		キャリア構想実践研究	
				○演習I	○演習II	○演習III	○演習IV	○演習V
							卒業論文	
					●社会調査実習			
				●海外博物館研修				
				●エスノグラフィー各論A ●多文化社会論 ●博物館資料保存論	●エスノグラフィー各論B ●観光文化論 ●博物館情報・メディア論			

	○学部共通必修科目
	★専攻必修科目
	●専攻選択必修科目
	選択科目

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30



## 学部固有科目の履修について

卒業に必要な学部固有科目は、4専攻全て合計80単位必要です。しかし、専攻ごとで必修科目、選択必修科目、選択科目の単位数が異なりますので、注意してください。

必修科目は、現代社会学部の卒業のために、必ず単位取得しなければならない科目です。学部としての必修科目と専攻ごとの必修科目があります。選択必修科目は、専攻ごとで異なります。履修できる選択必修科目のなかから選び、合計で、専攻ごとに指定された単位数を必ず取得しなければならない科目です。選択科目は自由に選択することができます。

「現代社会学(2単位)」「社会学入門(2単位)」「コミュニケーション・スキル(2単位)」は、1年生に配置された基礎科目群で、必修科目です。「社会構想学(2単位)」は、3年生に配置された基礎科目で必修科目です。

また、キャリア教育のための科目群として、「キャリアデザイン(2単位、1年生)」「キャリア構想ケーススタディ(1単位、2年生)」は、基礎科目で必修科目です。「キャリア構想ケーススタディⅡ(1単位、3年生)」「キャリア構想実践研究(1単位、4年生)」は、展開科目で必修科目です。

さらに、「演習Ⅰ(2単位、2年生)」「演習ⅡおよびⅢ(各2単位、3年生)」「演習ⅣおよびⅤ(各2単位、4年生)」は、展開科目群であり、ゼミ研究として必修科目です。こうした科目は、すべて履修し修得しなければ卒業ができません。しかも、演習のように2年生、3年生、4年生と学年ごとに配置されており、積み重ねによりその学習効果をねらっているため、履修には十分配慮しなければなりません。

一部を除き、各専攻のほとんどの選択必修科目は基幹科目、展開科目のなかにあります。各専攻の説明を読み、適切な履修科目の選択をしてください。必修科目、選択必修科目以外は、すべて選択科目です。この選択科目の中には「選択推奨科目」が含まれています。これは他専攻の科目の中から当該専攻の科目としても関連の深い科目であり、専門性を高めるために役立つ科目です。

自分の所属する専攻の科目群から必修科目を軸に、自らの関心に基づいて履修プランを作成し、履修していくことが大切です。先に述べたように現代社会学部の教育理念と目的をよく読んで、自分の研究関心を深める履修科目の選択をしてください。

## 社会学専攻

卒業に必要な学部固有科目は、学部必修科目(20単位)、専攻必修科目(6単位)、専攻選択必修科目(12単位)、専攻選択科目(42単位)で、合計80単位必要です。専攻の必修科目として、「社会調査入門(2単位、1年生)」「教育問題と学校の社会学(2単位、1年生)」「メディア社会学(2単位、1年生)」があります。

## コミュニティ学専攻

卒業に必要な学部固有科目は、学部必修科目(20単位)、専攻必修科目(6単位)、専攻選択必修科目(24単位)、専攻選択科目(30単位)で、合計80単位必要です。専攻の必修科目として、「社会調査入門(2単位、1年生)」「コミュニティ心理学(2単位、1年生)」「コミュニティ学演習(2単位、2年生)」があります。

## 社会福祉学専攻

卒業に必要な学部固有科目は、学部必修科目(20単位)、専攻必修科目(8単位)、専攻選択必修科目(12単位)、専攻選択科目(40単位)で、合計80単位必要です。専攻の必修科目として、「現代社会と福祉Ⅰ・Ⅱ(各2単位、1年生)」「ソーシャルワーク論Ⅰ(2単位、1年生)」「ソーシャルワーク論Ⅱ(2単位、2年生)」があります。

## 国際文化専攻

卒業に必要な学部固有科目は、学部必修科目(20単位)、専攻必修科目(10単位)、専攻選択必修科目(24単位)、専攻選択科目(26

単位)で、合計80単位必要です。専攻の必修科目として、「文化人類学入門(2単位、1年生)」「文化人類学方法論(2単位、1年生)」「博物館概論(2単位、1年生)」「海外短期研修(2単位、2年生)」「国際文化フィールドワーク(2単位、2年生)」があります。

## 学部固有科目と資格科目

現代社会学部では、教育職員免許状、社会調査士資格、社会福祉士(国家資格受験資格)、学芸員資格をはじめ、多くの資格取得が可能です。こうした資格取得のために必要な科目は、学部固有科目の中に含まれているものと、そうでないものがあります。含まれていないものは、資格科目として独自に設定されており、卒業単位には含まれませんので、履修には十分注意してください。

専攻により資格科目の履修条件が異なりますので、詳細は教務課に問い合わせてください。

## 演習について「演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」(必修科目)

「ゼミ」もしくは「ゼミナール」とも呼ばれる演習は、教員と学生がコミュニケーションを深めながら、それぞれの教育をテーマに応じて個別研究や共同研究をすすめていく“研究の場”です。また演習は少人数の利点を活かして、教員と学生、あるいは学生同士が相互に発表や質疑・討論を交わしていく“表現の場”でもあります。同時に、講義では得られない親睦の機会も広がり、そうした交友関係を通じて市民的な見識を身につけていく“交流の場”ともなっています。演習の選択の際には安易な情報に流されず、付和雷同することなく、真剣に検討することが望まれます。

## 「演習Ⅰ」選択方法

第4セメスターから始まる「演習Ⅰ」の登録方法は第3セメスター(2年生春学期)ガイダンスにてお知らせします。専攻別に登録方法は異なりますので、ガイダンスでの説明にしたがって登録手続きをしてください。(日時など詳細は第3セメスター開始日にALBOにてお知らせします)。配られる教員紹介資料や担当教員による【教員ゼミ(演習Ⅰ)説明会】などを十分参考にして選択してください。

## 「演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」「卒業論文(選択科目)」の履修上の注意

以下の説明に従って履修してください。

- ①「演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」は必修科目半期2単位です。原則として「演習Ⅱ」以降も「演習Ⅰ」と同じ所属教員(ゼミ)をセメスターごとに履修登録してください。
- ②「演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を修得していない学生も「演習Ⅳ・Ⅴ」と「卒業論文」を履修することができます。ただし必ず同時に、修得していない「演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を履修登録しなければなりません。
- ③「卒業論文」は「演習Ⅳ」を履修登録しないと履修登録することはできません(「卒業論文」のみの履修は不可)。「卒業論文」の履修登録は「演習Ⅳ」と同じ所属教員(ゼミ)を選択し第7セメスター(4年生春学期)に行ってください。履修登録していない学生、および「演習Ⅳ」と同じ所属教員を履修登録していない学生は、卒業論文を提出しても単位とならないので注意してください。
- ④「卒業論文」は選択科目、通年4単位です。この科目は集中講義として開講され、所属教員から演習時間外に論文指導を受けることとなります。
- ⑤卒業論文提出日程については11月にCHUKYO ALBOにて発表します。提出方法については、学生便覧の該当ページを参照してください。提出日程は毎年12月最終講義日1日間、1月上旬の3日間、あわせて4日間を予定しています。

## 「演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の変更方法

演習は「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ」「演習Ⅳ」「演習Ⅴ」「卒業論文」まで同じ所属(ゼミ)を継続し研究を深めることが望ましいのですが、関心の変化等による変更も可能です。ただし4年次の「演習Ⅳ」から「演習Ⅴ」への登録時における変更は認めません。

- ①ゼミ変更希望者は、原則的にセメスターごとの【CHUKYO ALBO履修登録】までに、希望する変更先のゼミ教員と相談し、受け入れの可否を確認し、認められた場合に、「ゼミ変更届」を教務課に提出してください。
- ②「ゼミ変更届」は教務課窓口で受け取ります。「ゼミ変更届」に必要事項を記入し、変更先の教員の認印をもらい、教務課窓口に提出してください。
- ③ゼミの変更は原則として【CHUKYO ALBO履修登録】までに完了していただきたいのですが、新任の教員の着任時期等の理由により、変更手続きが4月に入ってからしかできないことがあります。このような場合や3月中に希望先のゼミ教員と相談ができなかった場合には、「ゼミ変更届」の提出期限は春学期履修登録修正期間とします。
- ④「ゼミ変更届」提出後、各自の責任において【CHUKYO ALBOによる履修登録】をしてください。春学期履修登録修正期間に履修登録をしなかった学生は、いかなる理由があってもその変更は認められません。

## 専攻の変更について

教授会が定める条件を全て満たし、かつ教授会が承認した場合に限り、第3セメスターから若干名の変更が認められることがあります。詳細は教務課に問い合わせてください。(第2セメスターの12月迄に)

## 履修者を制限する科目

現代社会学部の学部固有科目の中で一部の科目について、講義内容の特性・教室収容定員から履修希望者の制限をするものがあります。履修者制限をする科目かどうかは、「WEBシラバス」および「学科学目時間割表」をよく読み確認してください。

主に収容定員制限する教室は、「コンピュータ演習室A・B」や「AVスタジオ」などがあります。

この教室を使用する科目は、履修者数が教室定員オーバーになった場合に制限を実施します。これら以外の教室でも講義内容の特性から履修制限する場合があります。

履修制限の方法は下記の2通りあります。

- ①コンピュータ抽選  
「学科学目時間割表」の注で確認してください。履修登録後に抽選を行い、当選した場合はCHUKYO ALBO上に科目が残ります。この抽選でもれても【CHUKYO ALBOによる履修修正期間】に空きが出れば履修登録可能です。
- ②履修者が多く定員オーバーで教室に入室できない、あるいは授業の特性などの理由で履修を制限する場合。  
このケースでは初回授業で授業担当教員が履修できる者を選択します。  
この結果、授業を受講不可となった場合は必ず【CHUKYO ALBOによる履修修正期間】に各自で履修の取消し・変更を行ってください。

※「コミュニケーション・スキル」の再履修については【CHUKYO ALBOによる履修修正期間】に履修登録してください。この科目については新入生を優先して履修登録を行います。

## 「キャリア構想ケーススタディⅠ・Ⅱ」

### 「キャリア構想実践研究」

- ①履修制限単位には含めませんが、卒業所要単位には算入します。
- ②成績上には「N」として表記されます。
- ③CHUKYO ALBOの「GPA・修得単位集計状況参照」画面では、春学期に1単位、秋学期に0単位と表示されます。

### 「海外語学演習」

- ①本学グローバル教育センター企画、主催の海外セミナーを参加、修了することにより、所定の単位を与えられます。セミナー終了後にレポートを提出してください。このレポートを含めて認定します(成績上には「N」として表記されます)。
- ②履修登録は不要です。履修制限単位に含めません。
- ③4年生においては、夏期海外セミナー(第7セメスター)は認定しますが、春期海外セミナー(第8セメスター)については認定しません。

### 「多文化共生フィールドワーク」

文化を異にする人々が共によりよく生きるために活動する団体にボランティアとして加わり、ボランティア活動の記録を作成し、合同発表会で報告することで単位として認めます。活動の場は、国内でも海外でも問いません。また、団体の種類は開発でも、福祉でも、まちづくりでも良いです。

#### 【履修登録上の注意】

- ①履修登録は不要です。履修制限単位に含めません。
- ②春学期または秋学期の履修登録の前に、9号館3階にあるフィールド・リサーチ・センターの職員に相談して活動する団体を決めてください。
- ③その団体の概要を記したレポート(2,000字以上)を提出し、授業担当教員から履修の許可を得てください。  
単位取得上の注意
- ④活動時間は30時間以上であること。
- ⑤活動期間中、随時フィールド・リサーチ・センターに活動記録を提出し、記録の書き方等について、指導を受けてください。
- ⑥活動期間終了後、「活動記録」(4,000字以上)と「活動を終えて考えたこと」(1,200字以上)を提出し、授業担当教員の指導に従って修正したうえで、合同発表会で発表してください。合同発表会の日時は、ALBOでお知らせします。

### 「調査研究法」(社会学専攻、コミュニティ学専攻のみ)

- ①第3セメスターの「調査研究法」は、社会学専攻、コミュニティ学専攻でのみ開講される特殊な科目です。
- ②演習や実習をより深めることができるように設けられた科目です。全ての教員が開講するわけではなく、教育上必要としている教員が開講します。
- ③履修を希望する学生は、あらかじめ担当教員に相談するか、初回の授業に出席し、教員の指示を受けてください。

## 「社会調査実習」

「社会調査実習」を履修するためには、原則として「社会調査実習」担当教員の「演習Ⅰ」を履修・修得することが、条件となります。詳しくは資格課程『社会調査士』の該当ページで確認してください。

## 「インターンシップ」

- ①この科目は、選択科目であり、3年生のみが履修できます。(再履修不可)。
- ②キャリア支援課が春学期に実施する各種ガイダンスに参加することが必要です。ガイダンスに参加して、インターンシップへの参加方法や必要な提出物など、単位認定に至るまでの一連の流れを詳細に確認してください。
- ③必要条件を満たすと2単位が認定されます。(成績表では「N」と表記されます。)
- ④履修登録は不要です。履修登録制限単位には含めません。

## 「海外留学科目」

- ①ISEP加盟大学、および中京大学海外交流協定大学へ交換留学生として選抜派遣された学生並びにセメスター留学で選抜派遣された学生が留学先大学で取得した単位については、原則として現代社会学部の学部固有科目にある科目に読み替えてこれを認定します(成績表上には「N」として認定されます)。
- ②上記読み替えがきかない科目の中で、現代社会学部教授会が認めた科目については、学部固有科目の「海外留学科目」として認定します。
- ③「海外留学科目」として認定できる単位数は16単位までとし、2単位、4単位などの分割認定も認めます。
- ④履修登録は不要です。履修制限単位に含めません。

## 卒業論文の提出について

## 《提出日時・提出先》

提出日	提出時間	提出場所
ALBOで11月に連絡します。 提出日は、基本的に4日間 (12月最終講義日1日、1月上旬3日間)です。	9:00~16:30	豊田教務課窓口

【注】①卒業論文提出日は12月に1日間、1月上旬3日間の計4日間を設定しています。

- ②卒業論文の提出は時間厳守であり、いかなる理由によるものであれ『受付期間外』および『遅刻』の提出は絶対に認められません。
- ③論文提出は、教務課窓口にある『卒業論文受付証』に必要事項を記入、卒業論文と一緒に提出し、窓口で『受付証控』をもらって完了とします。締め切り時間までにこの作業を済ませてください。
- ④提出最終日は予備日と考え、前日までに論文を提出するよう心がけてください。また、締め切り時間直前は、受付窓口が混雑する場合がありますので、あわてないよう余裕を持って提出してください。
- ⑤提出最終日は、公正な締め切り時間の指示をするため、現代社会学部教員が窓口で立ち会います。

## 【提出形式等】

▼卒業論文の作成方法、書き方など詳細については、必ずゼミ担当教員の指導を受けてください。

- ①提出形式 表紙+論文要旨(800字程度)+目次+本文(400字×50枚程度)+注
- ②提出数 2部(オリジナル版とコピー版各1部)
- ③表紙および論文の書き方
  - (1)表紙は現代社会学部指定のものとし(豊田キャンパスの生協購買部で販売しています)。
  - (2)中表紙は、教務課で受け取り必要事項を記入してください。  
1.論文タイトル 2.該当年度 3.学籍番号 4.氏名  
5.ゼミ担当教員名を記入してください。
  - (3)論文は、ワープロ書き、手書き、どちらでも可。ワープロ書きの場合以下の字数で作成してください。  
B5版・・・1ページ800字程度  
A4版・・・1ページ1,200字程度
  - (4)手書きの場合、B5版・A4版ともに400字詰原稿用紙を使用し、サインペン・ボールペンで記入してください。
  - (5)縦書き、横書きどちらでも可
- ④共同執筆の場合は、執筆分担を明らかにしてください。
- ⑤卒業論文提出は、原則、本人が直接教務課窓口へ提出してください。やむをえず代理人による提出を希望する場合は、ゼミ担当教員のみ代理人となることが出来ます(代理人提出の場合も提出日および時間厳守)。

## [卒業論文] 中表紙の記入例

_____年度	現代社会学部	卒業論文
論文タイトル		
_____		
_____		
学籍番号		
_____		
氏名		
_____		
ゼミ担当教員		先生

## 専攻別履修上の注意

### 社会学専攻

特記事項なし

### コミュニティ学専攻

#### ①「コミュニティ学演習」(第3セメスター)

- ・コミュニティ学専攻でのみ開設される必修の演習(ゼミ)科目です。1年生秋学期に、所属ゼミを選択します。
- ・2年生秋学期以降の演習科目でも同じゼミに所属することが望ましいのですが、変更は可能です。
- ・「コミュニティ学演習」と「調査研究法」を結びつけて演習を行うゼミもあります。「調査研究法」はすべての教員が開講するものではありません。ゼミ担当教員に確認し、履修の助言を受けてください。

#### ②「コミュニティ調査法」(第4セメスター)

- ・コミュニティ学専攻でのみ開設される科目です。「演習I」と「コミュニティ調査法」を結びつけて演習を行うゼミもあります。すべての教員が開講するものではありません。ゼミ担当教員に確認し、履修の助言を受けてください。
- ・所属ゼミの教員以外が開講する「コミュニティ調査法」の履修を希望する場合は事前に相談してください。

### 社会福祉学専攻

#### ①「ソーシャルワーク応用実習」(第7・8セメスター)、「ソーシャルワーク応用実習指導」(第7・8セメスター)

- ・社会福祉学専攻でのみ開設される実習科目です。
- ・社会福祉士取得に関わる指定施設以外の社会福祉現場での実習や「卒業論文」(第7・8セメスター)作成に関わるフィールドワークと関連させて履修することができます。
- ・社会福祉士課程資格科目である「ソーシャルワーク実習」(第5・6セメスター)および「ソーシャルワーク実習指導」(第5・6セメスター)の履修の有無は問いません。
- ・ただし、「ソーシャルワーク演習I」(第3・4セメスター)、「ソーシャルワーク演習II」(第5・6セメスター)を修得していることが履修条件となります。さらに、「ソーシャルワーク演習III」(第7セメスター)を履修してください。

### 国際文化専攻

#### ①「海外留学科目」について

国際文化専攻では留学先大学で取得した単位の合計が、「海外留学科目」の単位数をこえた場合には、「グローバル・コミュニケーション」の単位として認定します。

#### ②隔年開講科目

隔年開講科目とは原則、当該年度開講されれば、次年度休講となる科目です。4年間で履修の機会が1度しかない科目が生じますので、履修にあたっては十分注意してください。

《対象科目》

「国際理解教育II」「グローバル市民論」

参考：隔年開講科目および変則開講科目の年度毎開講予定

科目名/年度	2020	2021	2022	2023	2024
グローバル市民論	○		○		○
国際理解教育II		○		○	

#### ③「国際文化スキル」について(展開科目の中の選択科目)

国際文化専攻でのみ開設されている科目です。国際文化専攻の学生はTOEICのスコア600点以上で2単位、730点以上でさらに2単位修得することができます。

#### ④「海外短期研修(必修科目)」について

国際文化専攻でのみ開設されている科目です。国際文化専攻の学生は2年次夏休みに、異文化理解を深め、英語でのコミュニケーション能力を高める英語研修を受けます。研修先は、オーストラリア・カナダ・マレーシアなどから選ぶことができます。

#### ⑤「海外博物館研修(専攻内選抜制)」について

国際文化専攻でのみ開設されている3年次通年科目です。3年次夏休みの2週間程度、アメリカ、イギリス、南アフリカ、タイなどの博物館で、研究者やキュレーターの講義を受け、博物館でのショート・インターンシップを体験します。

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30

### オフィス・アワーについて

現代社会学部では、学部の教員が皆さんの学習について相談に応えるためオフィス・アワーという制度を設けています。授業の前後に質問等ができるのはもちろんですが、研修室等にて、より立ち入った質問や学修相談等を受けることもできます。オフィス・アワーの時間帯は教員ごとに設定されていますので各教員に確認し、研究室を訪問してください。

### 学修相談について

現代社会学部では、教務課、学生支援室等関連する窓口と連絡を取りながら、学修相談に対応しています。

入学直後、新入生に対する学部オリエンテーションを行います。教員、在校生が共同して、履修に関するガイダンスと個別相談を実施しています。

また1年の必修科目(社会学入門、現代社会学)の出席や履修状況の把握を行い、以後、必修の選択時や、各年次の科目の履修状況を見ながら、適時、学修相談や指導を行います。

2年次から4年次までは、必修ゼミ(演習I・II・III・IV・V)を通じても必要に応じて学修状況の把握や個別相談を行っています。

単位の修得状況が著しく悪い場合、下表の基準によりCHUKYO ALBOで「学修相談」の実施を通知しますので、決められた期間に教務課で面談を受けてください。その後、必要に応じて教員との学修相談を設定します。また、状況に応じて適切な相談部署を紹介します。順調に単位を取得するように励んでください。

#### 【「学修相談」の実施基準】

学年	セメスター	総修得単位数
1	1	14 単位未満 (通年科目の半期分の単位を含む)
	2	28 単位未満
2	3	42 単位未満
	4	56 単位未満
3	5	70 単位未満
	6	90 単位未満
4	7	105 単位未満
	8	留年者